

風力発電に関わる質問に対する回答について

2021年10月29日

衆議院議員候補 池田まき

1. 石狩湾新港洋上風力発電事業について。

上記の事業には、ご指摘のような低周波音被害、バードストライク、海の自然・水産資源への影響が心配されると認識しています。

そうした中で「住民参加の環境アセスの実施」は必要不可欠なものと考えています。

現在、コロナ禍を理由にして事業説明会などが開かれていない（拒否されている）、とのことですが、コロナは説明会開催拒否の理由にはならないと考えます。コロナ対策を万全にして、住民への説明会が早期に開催されますよう、事業者並びに関係行政機関等に働きかけてまいりたいと思います。

2. 石狩湾一般海域での洋上風力発電事業計画（合計 800 基）について。

海洋生態系や水産資源、海域住民の暮らし、景観などへの重大な影響が懸念されるような石狩湾一般海域での巨大風力発電事業が、本当に必要なのかどうか。

住民が参加する中で、一度立ち止まって計画（構想）を見直す必要があるのでは、と考えます。

計画段階からの住民参加の仕組みづくりとともに、「住民参加の環境アセスの実施」を前提条件とするよう、働きかけてまいりたいと思います。

3. 石狩市厚田区における 50 基の巨大風力発電計画について。

「環境保全エリア」における風力発電事業の実施には、問題があると考えます。

また、住民への説明会もなく事業が展開されることは、住民の不安と不信を増大させるものであり、地方自治のあり方からしても問題があるものと考えます。

ここでも「住民参加の環境アセス実施」を事業者並びに関係行政機関に働きかけてまいりたいと思います。

以上。